

※裏面もご覧ください。

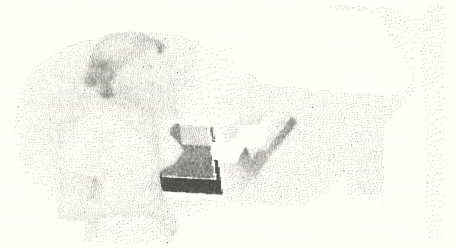
令和5年度乳がん検診のお知らせ

乳がんは、胃がん、大腸がんと並んで、女性に最も多いがんの一つで、特に40～50代の女性に多く、日本人女性の11人に1人が患うといわれています。乳がんは早期に発見して治療すれば95%以上が治癒します。国では、40歳以上の女性で2年に一度の定期検診を推奨しています。対象となる方は、ぜひ検診を受けましょう。

※新型コロナウイルスの感染状況により、検診が中止や延期になる場合があります。

集団検診 (完全予約制)

1. 検診日：令和5年6月 7日（水）
令和5年7月 5日（水）
令和6年1月10日（水）



●マンモグラフィとは乳房専用のX線撮影のことです。

2. 検診場所：泉崎村保健福祉総合センター

3. 対象者及び検診内容

※令和6年3月31日までに、偶数年齢に達する方（裏面参照）

※昨年度受診された方は対象となりません。

対象者	検診内容	受付時間
20～39歳	視触診＋超音波検査（エコー）	7/5・1/10 午前9時～10時30分
40歳代	視触診＋マンモグラフィ検査（二方向）	6/7・7/5・1/10 午前9時～10時30分 午後1時～1時45分
50歳代以上	視触診＋マンモグラフィ検査（一方向）	

※新型コロナウイルス感染症対策のため、予約時に受付時間を区切ってご案内いたします。

※予約された方には後日、受診時の注意事項等の通知と受診録を送付します。

※外国人登録をされている方も検診を受けられますので、希望される方は申し込んでください。

4. 個人負担額：無 料

5. 申込期限：令和5年4月17日（月）～4月28日（金）

6. 申込場所：泉崎村保健福祉総合センター（TEL 0248-54-1335）

※1日の検診人数には制限がありますので早めに申し込んでください。

※裏面の注意事項をよく読んでからお申し込みください。

※表面もご覧ください。

＜年度内20歳以上偶数年齢とは＞

20歳…平成15年4月1日～16年3月31日生	50歳…昭和48年4月1日～49年3月31日生
22歳…平成13年4月1日～14年3月31日生	52歳…昭和46年4月1日～47年3月31日生
24歳…平成11年4月1日～12年3月31日生	54歳…昭和44年4月1日～45年3月31日生
26歳…平成9年4月1日～10年3月31日生	56歳…昭和42年4月1日～43年3月31日生
28歳…平成7年4月1日～8年3月31日生	58歳…昭和40年4月1日～41年3月31日生
30歳…平成5年4月1日～6年3月31日生	60歳…昭和38年4月1日～39年3月31日生
32歳…平成3年4月1日～4年3月31日生	62歳…昭和36年4月1日～37年3月31日生
34歳…平成元年4月1日～2年3月31日生	64歳…昭和34年4月1日～35年3月31日生
36歳…昭和62年4月1日～63年3月31日生	66歳…昭和32年4月1日～33年3月31日生
38歳…昭和60年4月1日～61年3月31日生	68歳…昭和30年4月1日～31年3月31日生
40歳…昭和58年4月1日～59年3月31日生	70歳…昭和28年4月1日～29年3月31日生
42歳…昭和56年4月1日～57年3月31日生	72歳…昭和26年4月1日～27年3月31日生
44歳…昭和54年4月1日～55年3月31日生	74歳…昭和24年4月1日～25年3月31日生
46歳…昭和52年4月1日～53年3月31日生	76歳…昭和22年4月1日～23年3月31日生
48歳…昭和50年4月1日～51年3月31日生	78歳…昭和20年4月1日～21年3月31日生
	… ※80歳以上の方も受けられます。

＜検診を受ける際の注意事項＞

- ◆ 当日は、バスタオル、受診録を持参してください。（受診録は後日送付します。）
- ◆ 当日は、制汗パウダーなど付けずに来てください。
- ◆ 次の方は、マンモグラフィ検査が禁忌となっております。
 - ・心臓ペースメーカー、シャントチューブ、CVポートのある方
 - ・豊胸手術をされている方
 - ・授乳中（断乳直後、夜間のみ授乳中の方も含む）の方
 - ・妊娠中または妊娠の可能性がある方
- ◆ 乳がんの手術後の方、経過観察中の方、自覚症状のある方は、医療機関を受診してください。
- ◆ 抗凝固剤（ワーファリンなど）を服用中の方は、マンモグラフィ検査により、アザができる場合があります。

個別検診

集団検診を受けられない方を対象に、令和5年7月1日～令和6年2月29日まで、指定医療機関で個別検診を実施する予定です。対象者は、40歳以上の女性で年度内に偶数年齢になる方です。詳細については、6月配布予定のチラシ「令和5年度個別検診のお知らせ」をご覧ください。個別検診は人数が限られるため、なるべく集団検診を受けることをお勧めします。